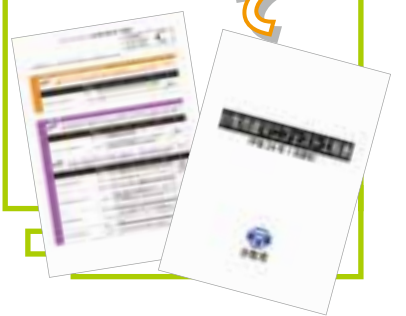


マニフェスト実現に向けて 工程表を作成しました

～内容の一部をご紹介します～



市長選挙で市長が掲げたマニフェストを実現するために市としてどのように推進していくか、その手法などを示した工程表を作成しました。今後は、この工程表にしたがつて事業を推進するとともに、事業の進捗状況に応じて、工程表を更新します。

これまでに 実施した 主な項目

マニフェスト
65歳以上の「巡回バス無料化」を実現します。

平成23年10月から、65歳以上の方の巡回バス利用料金を無料にしました。

マニフェスト
市長等特別職の退職金制度を見直します。

平成23年6月議会に市長・副市長の退職金の50%削減を提案し実現しました。

マニフェスト
「防げる病気は防ぐ」考え方で、子宮頸がん、ヒブ、おたふく、水ぼうそうにまで予防接種の無料化を拡大します。

子宮頸がん、ヒブに引き続き、平成23年10月からおたふく、水ぼうそうの予防接種について、1歳以上就学前までの子どもを対象に無料化しました。

マニフェスト
小牧駅前再開発事業を見直し、今一度市民の声を聞き、賑わいと魅力ある中心市街地の形成を力強く推進します。

平成23年度に中心市街地の空き店舗対策として、新規出店希望者に対し、家賃などの助成を行う制度を創設しました。

また、駅前再開発ビル「ラピオ」の3、4階空床部分に大型テナントを誘致し、12月に営業を開始しました。

今後「中心市街地再生戦略会議」での議論を踏まえ、平成24、25年度で「中心市街地活性化基本計画」を策定します。

マニフェスト
学童保育の時間・年齢・施設を拡大します。

平成23年度の夏休み期間から、放課後児童クラブの時間延長を実施しました。

今後、必要な施設の整備を行い、受け入れ年齢の拡大を図っていきます。

マニフェスト
厳しさを増す市民生活を支援するとともに、地域経済を活性化するため、**市民税1%分(約1億円)**の予算を市民に還元し、10億円以上の経済効果を生む「**10%プレミアム地域商品券**」を発行します。

平成23年10月から半年間で5億円以上の経済効果を生み出すべく、商工会議所と連携し「こまきプレミアム商品券」を発行しました。

平成24年度は、10億円以上の経済効果を生む商品券を発行します。

マニフェスト
地域主権時代の住民自治の確立を目指して、住民自治と協働を基本とする「**自治基本条例**」を制定し、市民の市政参加の機会を増やし、市民力を活性化するとともに、「**議員定数**」の3分の2への大幅削減を市議会へ要請します。

平成23年4月12日付で、議会改革に関し議会議論の充実や定数削減など8項目について議長あてに要請しました。

自治基本条例については、平成24、25年度に策定を行い、平成26年度に制定します。

マニフェスト
情報公開を徹底するとともに、市長と市民が対話を行う**タウンミーティング**を定期的に開催します。

平成23年7月、11月および平成24年1月にタウンミーティングを開催しました。

今後実施を 予定している 主な項目

マニフェスト

旧桃花台線の車両基地跡地にパーク＆ライドに利用できる駐車場やバスセンターなどを整備し、高速バスによる**桃花台⇄名古屋都心のアクセス利便性を向上**します。

マニフェスト

耕作放棄地を市が市民に貸し出す「**市民菜園事業**」を推進します。
平成24年度に市民菜園開設場所の整備と利用者の募集を行います。
平成25年度から池之内地区で市民菜園事業を実施します。

マニフェスト

保育園の待機児童ゼロはもちろん、一時保育やリフレックシュ預かりなど、**多様なニーズへの対応を充実**します。

待機児童対策として平成23年度に認可外保育所への支援を拡大するとともに、保育所改築による定員増を図ります。

平成24年度から大山味岡、小木、大城保育園において、保育時間を延長し、午前7時～午後7時とします。
保育園の半数程度を目標に民営化を進める中で、多様なニーズへの対応を図ります。

マニフェスト

伝統文化や文化財の保護に努めるとともに、幅広い文化活動を支援します。

平成25年度に小牧山城が築城450周年を迎えることから、記念事業を開催するなど、「史跡小牧山」の魅力を積極的に発信します。

マニフェスト

市民がリーダーとなる「**市民提案事業化制度**」や「**学区地域協議会**」、「**NP O・市民活動支援制度**」などで市民力を活性化し、**市民の創意工夫と相互扶助を最大化する**あらゆる仕組みを構築します。

市民からの提案による協働事業を推進するため、平成24年度に協働提案事業の募集を開始し、平成25年度から実施します。

また、市政の課題や地域の問題について幅広い層の市民が自ら議論すること、市民の意見を積極的に市政に反映するため、平成24年度から無作為抽出による市民討議会を開催します。
地域協議会については、平成23年度から制度設計および地域住民や関係団体などの調整を行い、平成25年度からモデル地域で実施し、順次拡大していきます。

マニフェスト

「**玄関から玄関の※デマンド交通**」などの新システム導入で、市内交通の利便性を大幅に向上し、人にも環境にも優しい「**交通先進都市こまき**」を創造します。

※デマンド交通：バスとタクシーの中間的な予約制の乗合ワゴン

平成24年度は手法などの調査・検討を行い、平成25年のできるだけ早い時期に社会実験を実施します。

マニフェスト

原則的に**公共施設の休日**をなくし、**市民の利便性を向上**します。

平成25年度を目途に、市民の利用ニーズが高い公共施設の休みを原則としてなくします。

マニフェスト

市長主導を支える「**市政戦略本部**」、市民・民間・有識者を交えた「**市政戦略会議**」などを設置し、市民とともに未来を創造する**戦略的な市政運営**を行います。

平成23年7月に、主要課題の解決に向けた議論を行うため「**市政戦略本部**」を設置しました。

今後、本部の中に、新たな企業の立地など産業都市「小牧」の力を持続的に高めることを目指す「**産業立地戦略会議**」や、新しい地域福祉モデルの構築を目指す「**高齢者福祉医療戦略会議**」、中心市街地のこれからのあり方を議論し活性化を目指す「**中心市街地再生戦略会議**」を、平成23年度中に設置します。

今回紹介した内容はあく一部です。工程表は市ホームページ (<http://www.city.komaki.aichi.jp/>) に掲載していきますのでご覧ください。

問合せ 市政戦略課 (☎76-11105)